

## 第2回うえだ保育園三者懇談会 会議録（概要）

1 日 時 平成30年6月4日（月） 17時35分～18時40分

2 場 所 うえだ保育園

3 出席者 うえだ保育園保護者（12名）、  
社会福祉法人わかば会，盛岡市子育てあんしん課

### 4 内 容

- (1) うえだ保育園新園舎の概要について
- (2) 引継保育に関するアンケート調査の実施について
- (3) その他

### 5 質疑等

#### (1) うえだ保育園新園舎の概要について

【保護者】園児が園内で具合が悪くなった場合に，園児を休ませる場所はどこですか。

【わかば会】事務室の中に医務コーナーがあって，そこで休ませたいと考えています。

【保護者】送迎用の車を止める場所はどこを想定していますか。

【わかば会】隣接する駐車場用地を貸してもらえないか，これから市と交渉したいと考えています。

#### (2) 引継保育に関するアンケート調査の実施について

質疑なし。

#### (3) その他

事前に保護者から寄せられた質問に対し，市とわかば会から回答した。

【質問1】保育士の先生方が大幅に変わることによる子どもたちのストレス・負担が心配です。本宮保育園を民営化した後の子どもたちの反応や保護者からの意見，それらへの対応など教えてほしいです。

【市】本宮保育園民営化後に実施した保護者アンケートでは，保育の内容について「外遊びやイベントが増えた」，「子どもに落ち着きがなくなった。新しいいろいろなことが始まり忙しい感じがする」といった意見などがありました。また，給食について「手作りのものが増えたように感じる」，「量が少し少なくなったと感じる」といった意見などがありました。

また，民営化直後の4月については，子どもたちが新しい遊びなどの話を積極的にしてくれるようになったという声のほか，公立の職員がいなくなったことを不安がる様子が見られたという声もありました。

移管先法人において，引継保育に当たっていただいた保育士の方を中心に子どもたちの状況の変化をこまめに把握いただき，フォローをしていただいたほか，市でも保護者向けのアンケート調査や園への定期訪問などで保護者の皆さまや子どもたちの状況を把握し，移管計画に沿った対応を行っていただくよう，移管先法人への助言等を行っております。

【わかば会】法人として，本宮保育園での移管の経験を踏まえると，公立保育所とわかば会の保育には違いもあるので，4月，5月は子どもたちが環境の変化に慣れることを一番大切にしていきます。子どもたちも何となく先生が変わるんだなあということがわかってくるようです。子どもたちがにこやかに元気で遊んでいる姿を見せることが保護者の皆さんや子どもたちとの信頼関係を強くすることや，円滑に引継ができていることを示すことにもつながると考えます

ので、法人としても全力でやっていきたいと考えています。

本宮保育園の移管の際は、移管後半年くらい経つと保護者の方からもざっくばらんにいろいろなアドバイスをいただくようになりました。移管当初は職員も緊張していましたが、保護者の方からたくさん声をかけてもらってありがたかったと思っています。小さなことでも職員に話してもらえればと思っていて、それが移管を円滑に進めていく上で一番大切なことかと思っています。

本宮保育園の移管は私どもにとっても初めての経験でした。また、本宮保育園の時は民営化に対して保護者会からの反対もありました。公立保育所の方が保育のレベルが高く、私立保育所の方は公立保育所と比べるとレベルが低いというイメージがあったようで、民営化することは子どもと保護者にとってマイナスだという考え方だったようです。ですが、民営化した半年後に保護者に対して市がアンケートをとったところ、89%の方が民営化後の保育に対して満足、やや満足という結果になりました。

確かに、私立保育所にはいろいろな保育所があります。公立保育所は標準的な中身で保育を行っていると思いますが、私立保育所は保育に特徴があるところが多いので、保護者の方には保育の質が良い、悪いというように見える部分もあると思いますし、また、私立保育所は公立保育所よりも質が低いというイメージもあるのかなと思っていますが、そこは大丈夫です。私立保育所でも立派な保育をやっているところももちろんあります。

また、本宮保育園ではある程度民営化に反対の意見がある中で移管を受けましたし、私どもの法人も民営化が必ずしもよいとは思っていませんが、それでもなぜ移管を受けるかというと、今、保育所も含めて福祉の場にいろいろ名前や形を変えて民間企業が参入してきています。例えば社会福祉法人の形をとるが運営の母体は全国チェーンの株式会社というところも盛岡にも入ってきています。そういった法人に保育を任せることと比べれば、私どものように地元にしっかり根差した法人が民営化を受けるべきだという想いがあるので、移管を受けています。民営化そのものには必ずしも積極的に賛成ではないが、やるのであれば私たちがやろうというのが私たちの法人の理事会の考え方です。

私どもも40年かかっていろいろ勉強してわかば会の保育をつくってきました。本宮保育園の移管を受けた時は、市からも厳重に言われていましたし保護者からも言われていましたが、公立保育所の保育を一字一句曲げないでほしいということをお願いしました。これは私どもとしては少し大変でしたが、移管後1年目、2年目は、以前の公立保育所の保育を継承することを最優先してやってきました。本宮保育園のときは、移管後にわかば会の保育をある程度やれるようになるのは、0歳で入園した児童が5歳になるまでの間に色々な保育を積み重ねて、移管から5年経ったころだと考えていました。実際には、移管後2年目、3年目で姫神登山や野外キャンプなどができるようになりました。保護者の皆さんも心配があると思いますが、子どもたちは我々が思う以上に順応性があります。私たちは、大人が子供の前に立って全部示すのではなくて、子どもがやりたいことを援助するのが保育士の仕事だと思って、そういう保育をずっとしてきているので、子どもの力と意欲に寄り添ってやっていけば、本宮保育園の移管の経験も踏まえて、皆さまにご心配をかけないようにやっていけるのではないかという自信はあるつもりです。

【市】公立保育所の保育を継承することを最優先したという話がありましたが、うえだ保育園の場合でも保育の内容、行事等は原則として引き継いでいただくようお願いしています。ただ、

その目的は、公立保育所の保育を引き継ぐことそれ自体にあるのではなくて、何よりもまず子どもたちに移管のストレス、負担をかけないようにというのが一番大きな目的です。その部分で、市とわかば会の方針に違いがあるということはないと認識しています。先ほど、本宮保育園の移管後の状況や取組についてお話をいただきましたが、特に移管後間もない時期の取組については、その進め方が子どもたちにとってなるべく負担にならないように、移管後も市の方で定期的に園を訪問し状況を確認させていただいたり、保護者の皆様にアンケートを取らせていただいたりということを引き続きやらせていただきたいと思います。

**【わかば会】** 私どもの法人は高松で当時でいう無認可の保育園を運営したのが始まりですが、その保育園は保護者が運営してきたもので、法人の原点は保護者が運営する保育園にあります。うえだ保育園の移管に当たっても、公立の方針を引き継ながら進めますし、法人が一方的に取組を進めることはないと考えています。保護者の皆さんに積極的に参加していただいて、保護者と子どもたちが満足できる保育にしていきたいというのが一番の狙いです。現在のうえだ保育園は、当時この地域に公立保育所がなかったことから私どもで陳情等を行って設置された経緯があって、40年経ってこの園の移管を受けることになったのも何かの縁ではないかと考えています。精一杯やっていきたいと思えます。

**【質問2】** 民営化後に来てくれる保育士について、移管計画の「市から示されている職員配置の要件」とは、「保育士の経験年数が5年以上の者が3分の1以上となる」ということ以外に具体的にどのようなものがあるか知りたいです。

**【市】** 民営化に当たって移管先の法人を募集する際、左欄の要件のほか、「保育士のうち最低1名は10年以上の保育経験を有すること」、「保育士の配置に当たっては、保育経験に配慮し、バランスの取れた年齢構成とすること」という要件を設けております。この要件に沿って職員配置の計画書の提出を受け、移管先法人選定の際、学識経験者等からなる選定委員会で審査項目の一つとしております。

**【わかば会】** 本宮保育園の移管のときは、法人がすでに経営していたわかば保育園と北松園風の子保育園の2園から保育所(わかば、北松園)から経験年数がある職員を配置転換しましたが、今回はわかば、北松園風の子、本宮の3園からの配置転換を考えているので、本宮保育園の移管の時よりは人員のやりくりはやりやすいと考えています。

それから、今のうえだ保育園に勤務している臨時保育士の方には引き続き働いてもらいたいと考えていて、働きかけていきたいと考えています。

**【保護者】** わかば会では人事異動はどのように行われていますか。

**【わかば会】** 年齢構成や経験年数は、各園で平準化したいと考えていて、園長、主任、副主任クラスは定期的に異動しています。今年の4月1日は昇級昇格も含めて12、3人くらいの異動がありました。必要に応じて実施していますが、子どもたちへの影響を考えるとできるだけ異動しないようにしたいというところがありますし、わかば会の保育園を卒園した子どもたちは、6年経って小学校を卒業する際に、卒業証書を持って当時の担任保育士を訪ねて保育園にやってきてくれるので、その時に当時の担任保育士が園にいないということをしてできるだけ避けたいという事情もあります。一方で、異動がないと職員にも慣れが出てしまいますし、また法人の職員でありながら、それぞれの保育園の職員という感覚が強くなってしまい、同じ法人の保育園であってもそれぞれの園の間で意識のずれがでてしまうので、各園の活性化のために一定の人数は異動させています。